

- ☐ 展示をもっと深く楽しみたい！
- ☐ 最新の研究や裏話が知りたい！
- ☐ 大学の教室で学んでみたい！

1つでも当てはまったあなたに
オススメの講座です！

受講無料

博物館を 研究者が語る 学問と展示の裏側

100倍楽しむ連続講座

第1回
10/31(土)
(10:30~12:00)

材料と技法から読み解く日本絵画 日本絵画から歴史が見える！

講師：鷹野 佳世子 先生
(帝京大学文学部史学科准教授)



第2回
11/28(土)
(10:30~12:00)

動物の体や器官はどのようにしてできるのか 生命の発生を研究する意味とは！
一形作りの謎を解く

講師：浅島 誠 先生
(帝京大学先端総合研究機構機構長・特任教授/東京大学名誉教授/横浜市立大学名誉教授)



第3回
12/19(土)
(10:30~12:00)

寄生虫の神秘と謎を探る

講師：上田 たかね 先生
(帝京平成大学健康メディカル学部医療科学科教授/元帝京大学医学部微生物学講座講師)

寄生虫は敵か味方か！？



第4回
1/9(土)
(10:30~12:00)

古文書から読み解く江戸時代の人口と家族 江戸時代のリアルに迫る！

講師：岡田 あおい 先生
(帝京大学文学部日本文学化学科学科長・教授/慶應義塾大学名誉教授)

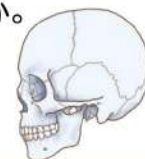


第5回
2/6(土)
(10:30~12:00)

解剖学の歴史—人体をいかに見るか

講師：竹田 扇 先生
(帝京大学医学部解剖学講座主任教授/山梨大学名誉教授)

人々は、人体をどう認識してきたのか。



第6回
3/6(土)
(10:30~12:00)

動物の心を探る方法

講師：草山 太一 先生
(帝京大学文学部心理学科教授)

動物の心を知るとヒトの心もわかる！？



博物館を100倍楽しむ連続講座～研究者が語る学問と展示の裏側 セミナー概要

帝京大学総合博物館は、2026年3月14日に、新展示「帝京大学総合博物館コレクション展」を設置しました。宇宙開発、生命科学、微生物などの理工系の分野から、骨をはじめとする医療系分野、また、遺跡から発見された土器や、古文書、美術品などの人文学や社会科学など各分野に渡る貴重な標本や資料、研究成果を展示しています。本講座は、それらの理解を深め、さらに楽しんでいただくために、様々な分野の研究者の方々を講師に迎え、展示資料や展示作品、それに関わる最新研究をわかりやすくお話しいただきます。帝京大学総合博物館の展示が100倍楽しめること間違いなしの講座です。皆様のご参加をお待ちしております。

第1回

10/31(土) 10:30～12:00

材料と技法から 読み解く日本絵画

近年、文化財の科学調査が盛んに行われるようになりました。その調査結果により日本絵画の色彩の使用例や技法には、時代ごとの変化や、地域ごとに特徴があることがわかっていきます。なぜそのような違いがあるのでしょうか。本講座では日本絵画に焦点をあてつつ、絵師の制作環境や貿易・流通の歴史にも触れながら、その謎に迫ります。

講師
鷹野 佳世子 先生
帝京大学文学部
史学科准教授



第2回

11/28(土) 10:30～12:00

動物の体や器官はどのように してできるのか - 形作りの謎を解く

動物は1つの受精卵から誕生し、細胞分裂を繰り返しながらやがて臓器や体の形をつくっていきます。研究の結果、それらの器官をつくり出すために重要なアクチビンというたんぱく質を1989年に発見しました。この成果により、臓器、組織を試験管内でつくり出すことに成功しました。今では再生医療に欠かせない役割を担っています。本講座では、研究を通じて明らかになった生命のメカニズムをお話しします。

講師
浅島 誠 先生
帝京大学先端総合研究
機構機構長・特任教授/
東京大学名誉教授
/横浜市立大学名誉教授



第3回

12/19(土) 10:30～12:00

寄生虫の神秘と謎を探る

寄生虫は、生き残るために「戦わない」という道を選びました。宿主の体に入り、居場所と栄養を得ながら、長い時間を共に生きる。それは、進化のなかで磨かれてきた生存のかたちです。宿主を殺せば、自分も生きられない。だからこそ寄生虫は、巧みに関係を保ち続けます。その神秘と謎を探ります。

講師
上田 たかね 先生
帝京平成大学健康メディカル学部医療科学科教授/元帝京大学医学部微生物学講座講師



第4回

1/9(土) 10:30～12:00

古文書から読み解く 江戸時代の人口と家族

江戸時代の一般の人びとがどのような日常を送り、どんな人生を歩んだのかについては、よく分かっていません。それを明らかにする鍵となるのが、幕府の人口統計や「宗門改帳」とよばれる古文書です。それを読み解くことにより明らかになった、江戸時代を通じた総人口の推移やその特徴を概観し、一般の人びとが何歳で結婚し、どれほど子どもを育て、どのような家族と暮らしていたのか、といった「見えない日常」を紹介します。

講師
岡田 あおい 先生
帝京大学文学部日本文化学
科学科長・教授/慶應義塾大
学名誉教授



第5回

2/6(土) 10:30～12:00

解剖学の歴史 ー人体をいかに見るか

解剖学は対象をみることで、そのかたちを知り、そこからかたちに宿る構造を抉り出し、機能との関連を探る学問です。その歴史を紐解くと、人々が人体をどのように認識して、理解しようとしていたのかを垣間見ることができます。本講義では、「人体模型」と、17世紀の哲学者である「デカルト」を手掛かりに、われわれが人体をどのように認識してきたのかに迫ります。

講師
竹田 扇 先生
帝京大学医学部解剖学
講座主任教授/山梨大学
名誉教授



第6回

3/6(土) 10:30～12:00

動物の心を探る方法

動物に「何を考えている？」と聞くことはできません。それでも、行動を手がかりに、学習や記憶など、直接見ることでできない「心」のはたらきを科学的に探ることはできます。今回特別に展示する「スキナー箱」を手がかりに、動物の行動をどう測り、そこから心について何が分かるのか、どのような限界があるのかを、研究の歴史をたどりながら考えます。

講師
草山 太一 先生
帝京大学文学部
心理学科教授



開催概要

会 場：帝京大学八王子キャンパス
ソラティオスクエア
地下1階 S011教室
※帝京大学総合博物館の隣です。
※第5回、第6回のみS013教室です。
主 催：帝京大学総合博物館
定 員：各回150名（先着順）
受講料：無料
申 込：博物館窓口、お電話、
ホームページ、
二次元コードから
締切日：各講座開催の当日まで受付



交通アクセス

- * 大学構内に来館者用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
- * 高幡不動駅・聖蹟桜ヶ丘駅・多摩センター駅から「帝京大学構内」行きのバスが便利です。（15分～20分）
- * 車いすで来館予定の方は、事前にご連絡ください。

